【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公表番号】特表2003-518050(P2003-518050A)
【公表日】平成15年6月3日(2003.6.3)
【出願番号】特願2001-546620(P2001-546620)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　37/62　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　39/367　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　37/62
Ｃ０７Ｃ　39/367

【誤訳訂正書】
【提出日】平成18年10月3日(2006.10.3)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１４】
先の日付のＥＰ０５７２１５４Ａ１もまた、１５０～５００μｍの平均粒径、高品質の多面形状、減少した不純物および優れた粉末特性を有する単結晶テトラブロモビスフェノールＡ、並びにその製造方法を開示している。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１５】
ＥＰ０４２４６９５Ａに対応する先の日付の米国特許第５０６８４６３号から、ＴＢＢＡのさらに別の製造方法もまた知られており、当該特許は、溶解したテトラブロモ－４，４－アルキリデンデフェノールを含有する有機相を、好ましくは５０～９０℃で、亜硫酸アルカリ水溶液で洗浄することを提案している。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１６】
従って、ＴＢＢＡのいくつかの製造方法が使用できるようになり、また、当該分野において長期にわたって知られているが、９９．９％のＨＰＬＣ純度、１０ｐｐｍ未満のイオン性臭化物、３５°未満の安息角を有するＴＢＢＡは現在もまだ得られない。さらに、上記で議論した、当該分野で現在使用できるＴＢＢＡの製造方法は、複雑かつ高コストであることもわかっている。従って、上記の理由から、高収率および高純度のＴＢＢＡの製造方法が現在もなお工業的に必要とされている。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２０

【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２０】
本発明の別の目的は、上記のような高純度および特性のＴＢＢＡを生じ、それと同時に、簡単なＴＢＢＡの製造方法に向けられている。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２１】
さらなる目的は、費用効率の高い方法とする、ＴＢＢＡの製造に向けられている。
【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３１】
乾燥生成物の重量は５２５ｇで、９６．５％の収率に相当する。生成物の分析は下記の通りである：
１．融点：１８３℃
２．純度（ＨＰＬＣ）：９９．９％
３．イオン化可能な臭化物：０８ｐｐｍ
４．２０％ＭｅＯＨ溶液のＡＰＨＡ：６．０
５．１０％シェリー（ｓｈｅｒｒｙ）のｐＨ：６．５５
６．２０％アルカリ溶液の色：＜１００ＨＵ
７．２０％メタノール溶液の濁度：３．０ＮＴＵ
８．平均粒径（９０％）：２７５ミクロン
９．安息角：３５°
【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３４】
生成物の分析は、下記の特性を示した：
１．融点：１８３℃
２．純度（ＨＰＬＣ）：９９．９％
３．イオン化可能な臭化物：＜１０ｐｐｍ
４．２０％ＭｅＯＨ溶液のＡＰＨＡ：５．０ＨＵ
５．１０％シェリー（ｓｈｅｒｒｙ）のｐＨ：６．１２
６．２０％アルカリ溶液の色：＜１００ＨＵ
７．２０％メタノール溶液の濁度：２．４ＮＴＵ
８．平均粒径（９０％）：２７０ミクロン
９．安息角：３５°
【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

【００３７】
本発明の方法は、水非混和性溶媒を使用するので、溶媒の副反応によって生成される有害な副生物が生じない。